

—WEST HIGHLAND WAYを少し歩き UK最高峰BenNevisに登る—

◎2017年8月7日（月）～8月24日（日）19日間。 全行程表は資料参照。

◎メンバー FY & 連れ合い

1. The West Highland Way（WHW）を歩く。

スコットランドのグラスゴーのMilngavieから北に向かい,Fort Williamまでの153kmを約8日間で歩くように整備されているフットパスがWHWです。

結論からいうと今回はMilngavieからDrymenまでを歩き、InveramanからCrianlarichまで歩き、最後にFort Williams近くしか歩きませんでした。

残念ですが、8日間のうち3日間しか歩けなかったのは、ホテルの確保ができなかったことに尽きます。スタートとゴールはしっかりと確認してきました。



スタート地点の Milngavie は地元の人たちは皆さんミルガイと発音しています。ロンドンに比べスコットランドの人たちの言葉は全く分かりませんでした。ホテルや駅などで仕事をしている人は英語を話してくれますが一般の人たちの語る言葉は「ここは UK じゃないのかな」と思うほどです。

9日(水) Milngavie のスタート地点の雑貨屋で WHW の地図を購入します。約£10 です。非常に良くできた地図です。本屋に入ると Ciceroni 社の £20 のガイドブックも売っていました。WHW はかなり人気のある道のようにです。

10 時 30 分 WHW のゲートを出発します。歩き始めは小川沿いの緑の濃い道です。ここはまだ街中なので近所の住人が犬を散歩させていました。バックパッカーも多く 10 組くらい見かけました。オーストラリアの 3 人組。ドイツの 2 人など外国人も多く歩いています。皆さんシュラフとテントを担いでいます。武蔵小金井付近の玉川上水沿いの道を歩いているような気分です。しばらく行くと牧場のフェンスが現れます。ゲートを開け、牧場の中を歩きます。



イギリスのフットパスは牧場の中を通り抜け、あらゆる方向に広がっています。開けたゲートは必ず閉めなければいけません。初日は晴天でした。大きく広がるスコットランドの空。乾いた空気。爽やかな風。快適なトレッキングでした。途中で車道と重なる道もあります。

本日の終着地 Drymen に 3 時 30 分到着。静かな村です。B&B が 10 軒ほど。ホテルが一軒。YH もありました。早速 B&B をチェックすると全部 No Vacancy でした。唯一のホテルに行くと一部屋のみ空きがあるので、即確保しました。ハイシーズンだとこの先の宿の確保は大丈夫か心配になりました。

この日、今後の宿泊地のホテルを全部チェックすると Crianlarich という村にあるホテルのみ空きがあり他は全部 No Vacancy でした。ここで、今回の WHW のトレッキングは全面見直しとなりました。

結果、Crianlarich と Fort William 近辺のトレッキング 3 日間のみを行い、あとは宿が確保できた Oban という港町でゆっくりと観光することになりました。Oban からは Mull 島行きのフェリーも出ていました。島にある古城を見学したり、ウイスキー蒸留所を見学したりと一般観光客としてスコットランドを楽しみました。

13 日(日) バスでやっと Fort William に着きました。この日は雨で市内観光。WHW のゴールがあるので記念写真だけ撮りました。椅子に座ったお年寄りの像がありました。それにしても、こちらの人々は雨の中でも殆ど傘を差しません。驚きです。

Fort William には博物館があります。ここは Highland の自然・文化・歴史などを展示してあります。この辺りは噴火によって出来た土地だということを知りました。Ben Nevis もカルデラなのだそうです。そういえばアイスランドも火山が噴火しているので、この辺りが噴火していてもおかしくありません。

2. Mt Ben Nevis(1344m) に登る。

15 日(火)に UK 最高峰の Ben Nevis(1344m)に登りました。曇りのち雨。

7 時 Fort William の GH を出発。Visiter Center まで歩いて 1 時間かかります。スコットランドの人は働きもので、朝の 7 時頃から、道路工事の仕事をしています。驚きました。Ben Nevis は日本でいうと地元の人たちにとって富士山のような存在らしいです。ここの駐車場には車が 50 台くらい止めてありました。多くの人が登っていました。

トイレも清潔で素晴らしい。雲が頂上を覆っているので、何とか雨にならないでほしいと願っていました。

8 時 30 分出発。牧場の中をしばらく歩くと岩場が始まります。すぐに森林限界です。Ben Nevis の標高 1344m ですが、海拔 20m から歩き始めるので 1300m の登りになります。道はしっかりとしています。眺めも良いです。

3 合目辺りにちょっとした池があります。草地の中にひっそりと佇む池は絶好の休憩場所です。



この池を過ぎると道はきつくなります。こちらの登山客はスタイルも様々で、しっかりと雨具で装備している人もいれば、スニーカーのような格好で歩いている人もいます。短パンで登っている人もいます。ちょっと驚きます。お年寄りの登山者もけっこう多いです。犬を連れて登っている人もいます。ヨーロッパの人は本当に犬好きが多いですね。ゴミがけっこう捨ててあるのには驚きます。バナナの皮、みかんの皮、サンドイッチの包み、タバコなどけっこう汚れています。富士山の 8 合目のような石や岩場が多くなってきます。途中で避難小屋のようなものはありません。ガスが出てきました。

11 時 30 分。山頂着。頂上付近は岩がゴロゴロし硫黄岳のようです。

広い頂上です。ガスが出てきたのでちょっと心配でしたが5m位ある巨大なケルンが登山道沿いにいくつもあり、道に迷う心配はありません。頂上にはかつての気象観測所の岩小屋がありました。頂上付近では視界が10m位しかありませんでした。展望は全くなし。激しい雨と強い風が吹いてきたので、サンドイッチをつかむ手も凍えそうでした。寒さが酷く北緯 60 度の自然の厳しさを感じました。ランチもほどほどにして下山を決めました。

下るにつれて風も雨も弱まり、池の辺りでやっと穏やかな天気になりました。それにしても夏の北アルプスでもこんな寒さにはならないだろうと思うくらい寒かったです。北国の山は侮れません。



14 時 40 分 Visiter Center 着。また雨が降ってきたので傘をさして 1 時間かけて GH に向かいました。ここから GH までは車道を歩きます。地元の人は殆ど、自動車で移動しています。歩いているのは私たちくらいです。

Fort William の GH、The WildGoose Hostel は BF 付き。清潔で安く（二人で一泊 9300 円）快適でした。ここは 3 泊しました。ここのキッチンは広く、使い易かったです。近くのスーパーマーケットで牛肉や野菜やスパゲッティーやワインなどを買いだし、調理して美味しく頂きました。外は激しい雨が続きました。

3. 終わりに

スコットランドは 18 世紀頃にイングランドに征服されました。アイルランドも独立問題で揺れていますが、「俺たちはイングランド人ではなくてスコットランド人だ。」と主張しているようです。一昨年 UK から独立する住民投票をやっていたことを思い出しました。町にはユニオンジャックの UK 国旗はほとんど掲げてありません。青地に斜めの白い十字のスコットランドの旗がたなびいています。

UK が EU から離脱したことを受け、スコットランドは EU に加盟するような動きがあるとニュースでやっていました。言葉も文化もイングランドとはずいぶん違う事を感じました。

ストーンサークルも多くあり、古くから独特の文化があるスコットランドは面白い所です。パプでハギス料理やブラックプディングをつまみにギネスを呑むのも良し、ブルーチーズをつまみな

がらスコッチをなめるのも良し。地域の文化を楽しむのは素晴らしいです。

この後、湖水地方に行きました。Windermere に 2 泊しました。ここは 200 年前の建物や景観がしっかりと残されタイムスリップしたような所です。フットパスも多く、1000m 近い山が連なる山岳地帯でした。ウェストウオーター湖から眺めるグレートゲイブル (899m)・スコーフエルパイク (978m) というイングランドの最高峰も立派な山でした。

UK に来ると、街で出会う人々は皆優しく、ちょっと肩が触れそうになると Sorry といいます。時々 Indeed などと言われると、恐縮してしまいます。何と Gentle なんだと思います。ドアを開けるときは次の人のために待ってくれる優しい人たちです。

この人たちの祖先が 16 世紀～19 世紀、戦争に明け暮れていたとは全く信じられません。UK は帝国主義として世界中に植民地を持ち、世界中であらゆる差別と略奪を行ってきました。大英博物館に行くと世界中から略奪してきた物品を誇らしげに展示しているのを見ることができます。インド・中国・ギリシャ・エジプト・ペルシャ等など。全てが略奪した物ではないかも知れませんが、何で元の国に返さないのかなと思います。

この後、リバプールに行きました。この港町は 200 年以上に渡って奴隷貿易の中心地だった所です。マーシーサイド海洋博物館の 3 階にはおぞましい資料が沢山展示されていました。負の歴史もしっかりと隠すこともなく展示することは素晴らしいと思います。この国は今まで一度も戦争で負けていません。なので、その矜持がそうさせるのかと思いました。

8 月 17 日。グラスゴーのホテルで TV を見ていたら「バルセロナでテロが起き 15 人死亡。100 人が怪我をした」と報道されました。7 月にはマンチェスターでテロがありました。8 年ぶりのロンドンでは少し緊張しながら歩きました。街中にはムスリムが多く、高級デパートのハロッズに行くとムスリムの女性が多く、驚きました。一層、多文化共生の街になっていました。

今年の UK は寒い夏でしたが、雨に濡れた緑の濃い自然溢れる山岳地帯をゆっくりと歩くことができたことは良かったです。また、のんびりとフットパスを歩いてみたいです。

The West Highland Way 行程表

1 £ = 155 円

日 時	行 程	宿 泊 先
8月7日(月)	BA HND8:50 発—LHR13:10 着	HILTON Gatwic Airport London £ 82
8日(火)	BA LGW10:35 発—GLA12:05 着	GrandCentralHotel Glasgow £ 159
9日(水)	WHW Glasgow —Milngavie-Drymen 5 H	Winnock Hotel £ 185
10日(木)	WHW Crianlarich 4 H	BestWestern Crianlarich £ 100
11日(金)	Crianlarich—Oban	Glenavon Hotel £ 165
12日(土)	Oban	GlenavonHotel £ 165
13日(日)	Oban —Fort William	Imperial Hotel £ 140
14日(月)	Fort William	The WildGoose Hostel £ 60
15日(火)	Fort William Mt Ben Nevis(1344m) 9 H	The WildGoose Hostel £ 60
16日(水)	WHW Fort William 4 H	The WildGoose Hostel £ 60
17日(木)	FortWilliam→Glasgow	GrandCentral Hotel Glasgow £ 144
18日(金)	Glasgow→Windermere	SouthviewGH Windermere £ 125
19日(土)	Windermere (OneDayTour)	SouthviewGH Windermere £ 125
20日(日)	Windermere →Liverpool	TheLiner At Liverpool Liverpool £ 62
21日(月)	Liverpool →London	K+K George Hotel London £ 155
22日(火)	London	K+K George Hotel London £ 155
23日(水)	London	K+K George Hotel London £ 155
24日(木)	BA LHR11:40 発—	
25日(金)	—HND15:25 着	

地図 (West Highland Way)



地図 (Ben Nevis)

